

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2024 市民／学生応募用紙

|                      |           |                       |      |
|----------------------|-----------|-----------------------|------|
| 自治体提示の地域課題名(注1)      | No.       | 自治体提示の地域課題名           | 自治体名 |
|                      |           | 地域資源を活かしたまちづくりと観光の魅力化 | 裾野市  |
| チームがつけたアイデア名(公開)(注2) | 駅前商店街の活性化 |                       |      |

(注1) 地域課題名は、COG2024 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

### 1. 応募者情報 下の欄のうち選択肢項目は右のドロップダウンで選んでください

|              |                                       |  |       |
|--------------|---------------------------------------|--|-------|
| チーム名(公開)     | 莓組                                    |  |       |
| チーム属性(公開)    | 1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生    ドロップダウン選択 → |  | 2. 学生 |
| チームメンバー数(公開) | 4 名                                   |  |       |
| 代表者(公開)      | 遠藤一護                                  |  |       |
| メンバー(公開)     | 宇江城夢彩、大白麗衣愛、稲葉愛莉                      |  |       |

**【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。**

#### <応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2024\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、COG2024 のウェブサイトにある【応募フォーム】からアップロードしてください。

#### <応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者および公開に同意したメンバー氏名([メンバー一覧ページ](#)を参照)、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について:  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY(表示)4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC(表示—非営利)4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja> および <https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開しません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

#### <知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

アイデアの説明が肖像権・著作権等を侵害していないことを確認してください。OKなら右欄の○を選択 → OK

#### <チームメンバー名簿: [メンバー一覧ページ](#)>

チームメンバーに関する情報を該当ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明は(1)アイデアの内容(活動)、(2)アイデアの理由(なぜなら)、(3)実現までの流れ、の三項目あります。それぞれ書いてください。必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

#### (1) アイデアの内容(公開)

## 2. アイデアの説明（公開）

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、どのような社会的活動（サービス）を行うのかを具体的に示してください。将来実現した場合に、新規性があり、実践したくなり、魅力的でわくわくするようなアイデアを求めます。その結果、課題が解決され、社会に良い変化をもたらすことが期待されます。**2 ページ以内**でご記入ください。

※応募チームとして解決したい課題のポイントを、以下にごく短く書いてください

＜解決したい課題のポイント＞

※以上の課題解決のために『何』をするアイデアか、それを『だれ』が『だれ』に対して『いつ』『どこで』『どのように』行うのか、受益者自身が主体的に関わる視点も視野に入れてわかりやすく書いてください。アイデアが具体的に実行される場面を想定し、説明をお願いします。

（参考）よいアイデアを生むには関連データの分析に加えてデザイン思考によるアイデアを利用する人への共感（使う人の立場になってみること）が大切です。

＜提案するアイデアの内容＞

しまっているシャッターにイラストを描く

裾高生や地域の方々と共に行う。これを行うことにより街並みを美化し、防犯効果を高める点です。また、店舗の宣伝や地域文化の発信に役立ち、観光資源としても活用できます。さらに、住民参加型の制作でコミュニティを活性化し、地域の魅力向上に貢献します。

|  |
|--|
|  |
|--|

## 2. アイデアの説明（公開）

## (2) アイデアの理由（公開）

### (2) アイデアの理由（公開）

次にアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

※このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます。

※先に書いた『何を』『だれが』『だれに対して』『いつ』『どこで』『どのように』というアイデアの内容を支えるために、『なぜ』このアイデアが有効で、実現する意味があるのか』を、上記のデータを使ってわかりやすく説明します。

＜参考：以下のように理由を書いていきます＞

※根拠：このアイデアがなぜ必要であるか、またはなぜ有効だと考えるのか、その筋道を説明します。

※裏付け：その根拠を支えるために、統計データや報告書、事例などを使って補強します。さらに具体的なアイデアの効果についても、何らかのデータを使うと説得力が増すでしょう。（定性データを含めて歓迎）

根拠：なぜこのアイデアが必要なのかというと、駅前がシャッターがしまっているところが多く活気がなく華やかさが無いと思ったため。またこのシャッターアートが有効化というシャッターに店舗名や商品イメージを描いた事例では、閉店時でも店舗を視認できることで集客効果を高めたとされています。また、地域住民や学生が制作に参加する取り組みでは、住民同士の交流が活発化し、地域への愛着が深まったとの報告があります。これらの根拠から、シャッターアートは多方面でメリットをもたらす有効な手法であるとされています。

裏付け：日本各地の商店街でシャッターアートが採用され、活気ある街並みづくりに成功しています。例えば、横浜市の一部商店街では、アートが施されたシャッターが観光客の増加に寄与したと報告されています。他にも北海道小樽市では、シャッターアートが街全体の観光資源として注目を集め、地域経済の活性化に寄与しました。

SNSで拡散されることで、観光客がアートを目当てに訪れるケースも増えています。



### (3) アイデア実現までの流れ(公開)

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの**実現にいたる時間軸を含むプロセス**、実現の制度的制約がある場合にはその解決策を含め、アイデア実現までの大まかな流れについて、**2ページ以内**でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

※アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきます

＜以下のように分けて書いていきます＞

1. **実現する主体**
2. **実現に必要な資源(ヒト、モノ、カネ)**の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. **実現にいたる時間軸を含むプロセス**

1: シャッターアートは、商店街や店舗オーナー、自治体、アーティスト、住民、教育機関、民間企業などが主体となって実現します。

2: デザイン制作や塗装作業を手伝う住民や地域団体の協力。耐久性の高い屋外用ペンキ、スプレー、筆、マスキングテープなど。汚れを防ぐシートなど。

3: 準備期間: デザイン決定、許可申請、材料調達にかかる時間。

制作期間: 実際の描画や塗装作業に必要な日数。

維持期間: アートを長持ちさせるための定期的なメンテナンス。